

# 糸我小学校だより

令和6年1月31日



## 2024年が始まりました

今年も子供たちの健全育成のため職員一同、力を合わせて全力で取り組んで参りますので、保護者の皆さま並びに地域の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

## 本校の児童・保護者のアンケートの結果と分析

昨年12月に、児童と保護者の皆さまに今年度の学校生活についてのアンケートを実施しました。その集計結果と改善に向けた方策を以下に示します。

### <児童アンケート> ※肯定的回答率とは「あてはまる」「まああてはまる」と回答した児童の割合

質問事項	肯定的回答率(%)
1 学校の決まりを守っている。	94
2 近所の人・友だち・先生にあいさつをしている。	94
3 授業中に友達の話最後まで聞いている。	89
4 そうじや係の仕事をきちんとしている。	96
5 先生の言うことをよく守っている。	95
6 授業で勉強する内容がよくわかる。	89
7 学校が楽しい。	84
8 勉強やスポーツ・習いごとなど、何かがんばっていることがある。	93
9 将来のゆめや目標をもっている。	87
10 毎日、朝ごはんを食べている。	99
11 毎日、同じぐらいの時間にねている。	77
12 毎朝、同じぐらいの時間におきている。	84
13 学校の宿題や自主学習(3年生以上)をしている。	96
14 家で読書する。	59
15 自分にはよいところがある。	82

15の質問項目のうち7項目で90%以上の子供が肯定的な回答をしていました。反面、3、6、7、9、11、12、14、15の8項目の肯定的な回答率が90%を下回っていました。

### 【改善にむけて】

3、6…学力の定着はもちろん、将来の完全複式化に向けて子供たちにつけなければならない力や指導方法、授業規律の定着など、今後も研修や話し合いを重ね取り組んでいきたいと思ひます。

7…アンケートの日やその前後の日に嫌なことがあれば、否定的な回答をしがちになります。とは言え、気になる数字です。当該児童から話を聞いたり、様子を観察したりして原因を見極め、早期解決できるよう努めています。

9…夢や目標をもてない小学生が増えているといわれています。原因はインターネットの影響だったり、自己肯定感の低さだったり、大人に対するマイナスイメージだったり、いろいろ考えられます。夢や目標をもつためには、好奇心やチャレンジ精神が必要です。そのために、今までのように「褒めて育てる」ことを大切に自己肯定感を高めていきたいと思ひます。

11、12…低学年と高学年で生活の仕方が異なってきますが、今後も保護者の皆様の協力を得ながら、児童に対して「眠育」の授業で根気強く睡眠の大切さを指導していきます。

14…朝読書や図書館活用、長期休業中のファミリー読書など色々な取組を行ってきました。読み聞かせボランティアの方の協力で「読み聞かせ会」も実施していただきました。今後も根気強く取り組んでいこうと思ひます。

15…自己肯定感向上のために、「ほめて育てる」ということを大事に指導してきています。今後もこの姿勢を継続していき隊と思ひます。そうすることで、いろんなことに挑戦しようという意欲となり、夢や目標をもつことにもつながっていくと考えています。

### <保護者アンケート> ※肯定的回答率とは「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した保護者の割合

評価項目	肯定的回答率(%)
1 学校は、授業や教材等を工夫し、わかりやすい授業を行っている。	93
2 学校は、子どもの安全に配慮している。	90
3 学校は、子ども一人ひとりを大切にしている。	91
4 学校は、子どもに社会のルールを守ることの大切さを教育している。	94
5 学校は、いじめのない学校・クラスづくりに取り組んでいる。	77
6 学校は、子どもの健康管理・体力向上のための取組を行っている。	95
7 学校は、家庭や地域と協力・連携している。	98
8 学校は、学校だより・学年通信・その他で情報を発信している。	100
9 子どもは、楽しそうに学校に通っている。	87
10 子どもは、学習内容が理解でき、基礎学力が身に付いている。	83
11 子どもは、学校での出来事や友だちのことをよく話す。	88
12 子どもは、家で宿題等の学習をしている時間がある。	91
13 子どもは、家で読書をしている。	44

13の質問項目のうち、8項目で90%以上の保護者が肯定的な回答をしています。反面、5、9、10、11、13の5項目については肯定的回答率が低かったです。

### 【改善にむけて】

5…引き続き、保護者の皆さまにいじめ防止の取組について知ってもらふ機会を増やしたり、情報や意見をいただいたりして、保護者と学校が連携していじめ防止に努めていきます。

9…5とも関係しているかもしれません。子供たちを中心に据え、保護者の皆様と協力・連携しながら、学校が子供たちにとって楽しい場であるようにしていきたいと思ひます。

10…子供達にとってよく分かり、学習内容が定着する授業を目指し、さらに研鑽を積んでいきます。また、補充学習も充実したものになりたいと考えています。

11…学校生活の充実を目指すとともに、保護者の皆さまに、家庭で子供との受容的(公平な目をもった)会話を心がけていただけるように、機会を見つけてお願いしていきます。

13…子供たちの生活を考えると、習い事などのため自宅で読書をする時間を確保するのが難しいのも事実です。しかし、将来ICTが進んでも、文字を読み内容を把握・理解する力は大切なのは変わりないでしょう。そのため、今後も読書についての取組や図書ボランティアの「読み聞かせ会」など、本が好きになるような取組を継続していきます。

児童・保護者のアンケートで、肯定的回答率が90%を超えている項目については本校の良さとして大切にしていきたいと思ひます。また、否定的な回答が多かった意見はもちろん、少数意見についても真摯に受け止め、今後の教育活動の工夫・改善に生かしていきたいと思ひます。

# 糸我小学校だより

令和6年1月31日



## 「十日えびす」糸我神社へ お参りに行きました (1・2年生)

1月10日(水) 1・2年生が糸我神社の十日えびすにお参りに行きました。みんなお参りをすませた後は、ぜんざいをごちそうになりました。日本の伝統的行事を体験する良い機会となりました。恵比寿様といえば、七福神の中で唯一の日本の神様だそうです。鯛と釣り竿を抱えて満面の笑みを浮かべている親しみ深い姿が思い出されます。その姿を思い出すだけで、幸せがやってきたような気分になります。子供たちにも恵比寿様のように毎日笑顔で過ごしてもらいたいです。

ちなみに七福神の七福、全て言えるでしょうか？言えそうでなかなか難しいかも…。



## 「たこあげ」(1年生)

1年生が運動場で凧揚げをしていました。自分たちが作った凧です。それぞれの凧を宙に舞い上げようとみんな一生懸命です。この日は強めの風で、結構揚がったようです。

お正月の遊びと言えば凧揚げが思い出されるほど、誰でも知っている有名な遊びですが、なぜお正月に凧揚げをするようになったのかは意外と知られていないかもしれません。

凧揚げには、願いごとを凧に乗せて「天まで届ける」という意味があり、子供にとって縁起の良いお正月の遊びとされているそうです。

ここ数年は、家で過ごすことが多かったかもしれません。外に出て、澄みきった空に凧を揚げ、すがすがしい爽快感を感じてほしいと思います。



## 「書初会」の練習、嶋田暢子先生に来ていただきました

毎年、書初会の練習をするにあたり、嶋田先生に教えに来ていただいています。子供たちの机の間を歩きながら一人一人丁寧に指導くださいました。

子供たちには、書初会の時はもちろん、普段からも字を丁寧に書く習慣を付けてもらいたいと思います。



## 大谷翔平選手の寄贈グローブ届きました

子供たちが楽しみにしていた大谷翔平選手寄贈のグローブが、糸我小学校にもやってきました。グローブは全部で3つ。右利き用、左利き用があり、右利き用は大きいサイズ、小さいサイズの2種類あります。これらのグローブが各学年に順に回され、子供たち一人一人が手にしました。グローブを手にした子供たちは目を輝かせながら、いろんな角度から眺めてみたり、手にはめてみたりしていました。

グローブと一緒に下のメッセージが入っていました。そこには「この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです」と記されていて、「この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれるスポーツだからです」と書かれています。大谷翔平選手の子供たちへの熱いメッセージが届くよう、これから大切に使用していただきたいと思います。



学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平